

1月の乳幼児の健康診査

*該当月に受けられない場合は子育て支援課または各支所保健福祉課へ連絡してください

地域	内容	対象	日	受付時間	場所
一関 花泉	3~4カ月児健診	29年9月1日~18日生まれ	24☉	12:45~13:00	一関保健センター
		29年9月19日~30日生まれ	25☉		
	9~10カ月児相談	29年3月1日~11日生まれ	24☉	8:45~9:00	
		29年3月12日~31日生まれ	25☉		
	1歳6カ月児健診	28年6月1日~17日生まれ	18☉	12:45~13:00	
		28年6月18日~30日生まれ	19☉		
2歳6カ月児歯科健診	27年7月1日~15日生まれ	18☉	8:45~9:00		
	27年7月16日~31日生まれ	19☉			
3歳児健診	26年7月1日~16日生まれ	11☉	12:45~13:00		
	26年7月17日~31日生まれ	12☉			
大東 千厩 東山 室根 川崎 藤沢	3~4カ月児健診	29年9月生まれ	23☉	12:45~13:00	川崎防災センター
	9~10カ月児相談	29年3月生まれ	16☉	9:00~9:15	千厩保健センター
	1歳6カ月児健診	28年6月生まれ	18☉	12:45~13:00	
	2歳6カ月児歯科健診	27年7月生まれ	16☉		
	3歳児健診	26年7月生まれ	17☉		

*きょうだいなどの同伴で手伝いが必要な人は託児スタッフが対応します。健診日の2週間前まで申し込んでください

☎子育て支援課(一関保健センター内)または各支所保健福祉課

information

ふれあいひろば

☎一関子育て支援センター ☎24170
◇日時…月・火・水・木 9:30~15:30
 金 13:30~15:30(☎を除く)
◇場所…一関保健センター

ひきこもり講演会

☎健康づくり課(一関保健センター内)
または各支所保健福祉課
ひきこもり状態にある人に対する理解を深め、関わり方を学ぶための講演会です。
◇日時…1月31日 ☎13:30~16:00
◇場所…一関保健センター
◇内容…【講話】ひきこもりをいかに支えるか~理解と関わり方のヒント~【講師】そらをみた会 代表兼家族相談士 阿部直樹氏
情報提供「ひきこもり支援のための取り組み」(岩手県一関保健所、一関市)
◇申し込み…1月25日 ☎まで

市民健康講座

☎健康づくり課(一関保健センター内)
◇日時…①1月11日 ☎10:00~11:30
 ②1月25日 ☎13:30~15:00
◇内容…①【講話】傾聴の方法を学びましょう、健康いちのせき21計画(こころの健康)健康づくり課保健師
②【講話】高齢者のこころの健康のために一関中央クリニック 院長 長澤茂先生
◇場所…一関保健センター

傾聴サロン

☎健康づくり課 ☎2160
◇日時…1月16日 ☎10:00~11:30
◇場所…一関保健センター
◇内容…傾聴ボランティア会員による傾聴

医療と介護の窓
~みんなで守ろう地域医療~

文・一関在宅緩和ケア支援ネットワーク会長 佐藤 隆次(一関病院院長)

在宅ケアのさらなる広がりを目指して

新年あけましておめでとうございます。一関在宅緩和ケア支援ネットワーク(IZAK)です。

母親の在宅ケアをしている息子さんから「このような良い在宅ケア制度があるなんて知らなかった。もっと早くに知っていたら、迷わずに家に連れて来れたのに…」と話があり、ハッとしました。これまでそれなりに活動してきたつもりだったが、井の中の蛙だったのかと考え、IZAKのメンバーで話し合いました。

■なぜ在宅ケアは広まらないのか
元気なうちは関心がない、介護当事者にならないと関心がない、在宅ケアの相談窓口が分からない、地域包括支援センターの役割が分からない、医者が病院の外に出て家に来るなんて知らない、

自分の家に他人が入るのは嫌だ—などの理由があげられました。

■今後の対応はどうか
もっと広報に力を入れる、在宅ケアをして良かったという声を集めて発信する、当事者になったときに身近なところで相談できる窓口が分かるようにする(医療従事者でも分からないことや迷うことが多いのが現状)、在宅ケアに関わる全ての職種の人が在宅ケアをしっかりと理解する—などの対応策があげられました。

さまざまな課題を多職種から出し合って、一つ一つの課題の解決につなげるようにIZAKのメンバーは励んでいます。医療、介護、福祉、行政、そして市民の皆さんが歩みを共にして在宅ケアを広めていきたいと思います。

☎健康づくり課(一関保健センター内)

NEWS HOTLINE ▶ホットな話題をラインアップ

国道284号線沿いに4月オープン予定
道の駅「むろね」に登録証

道の駅「むろね」の登録証伝達式は11月30日、市役所で行われ、国土交通省岩手河川国道事務所の清水晃所長が勝部修一関市長に登録証を手渡しました。

同駅は国道284号室根バイパスが本年度中に整備を終えるのに合わせ、4月にオープン予定。農産物や海産物を販売するほか、室根神社特別大祭などのイベント、道路や観光など、幅広い情報を積極的に発信していきます。

市内の道の駅の登録は「かわさき」「巖美溪」に続き3カ所目。伝達式で清水所長は「県内33駅のネットワークを生かして盛り上げてほしい」と地域活性化に期待を寄せていました。



岩手朝日テレビで年間30回放送

テーマは「いつもこころに、いちのせき」

県内30市町村が手作りコマーシャルでふるさとをアピールする「ふるさとCM大賞inWATE2017」(岩手朝日テレビ主催)の審査会は11月26日、盛岡市で行われ、本市は作品名「いつもこころに…」で参加しました。

今作のテーマは、本市で青春時代を過ごした人に「感情の背景には古里の情景があった」ことを伝える内容。

主演の松本花音さん(一関学院高2年)、遠山結惟さん(同3年)、高橋美帆さん(同3年)、監督の佐藤佑樹さん(タスクデザイン代表)らが舞台へ登壇。作品の見どころや苦勞話を熱心に説明しました。

千厩アイスアリーナが今シーズンの営業を開始
冬のレジャー、アイススケートを満喫

千厩アイスアリーナは12月9日、今シーズンの営業を開始しました。同日は無料開放ということもあり、オープンを心待ちにした大勢の親子連れなどが初滑りを楽しみました。

開館セレモニーでは、関係者らがテープカットで営業開始を祝福。来場者は、手をつないで滑ったり、かけっこをしたりして思い思いにスケートを楽しんでいました。

川崎町から訪れた金野健男さん(75)は「50年ぶりに滑った」と息を弾ませ、孫の修斗君(川崎小1年)と一緒に氷の感触を楽しんでいました。同施設は1994年に開業し、今年で24年目。今シーズンは、3月18日まで営業します。



食品ロス削減へ認定証を14店に交付

「残さず食べよう!30・10運動」を開始

食品ロスを減らす取り組みである「残さず食べよう!30・10運動」の協力店への認定式は11月27日、市役所で行われました。

勝部修市長は「食べられるのに捨てられてしまう食品ロスを『もったいない』の気持ちで事業者と行政が協力して減らし、廃棄物を減量しましょう」とあいさつ。14店中7店の出席者それぞれに認定証を手渡しました。

30・10運動は宴会時に乾杯後30分、お開き前10分は料理を楽しむことにより食べ残しを出さない取り組みで、長野県松本市が発祥。市は今後も協力店を随時認定します。